

	モチベーション				設計方針	ロジック			実現手段		ロジックの実現手段への割当			組織	設計結果の分析		他		
	前提条件 【Pre】	対象範囲 【Scp】	コンテキストとの関係 性 【Cnt】	要求 【Req】	コンセプト 【Cnc】	ロジックの構成 【LT】	ロジックのフロー 【LF】	データ 【Dt】	実現手段 (HW/SW/人) 【PE】	実現手段 (ルール) 【RI】	アロケーション 【Aloc】	実現手段間の関係 性 (フロー) 【SD】	実現手段間のイン ターフェース【IF】	実現手段の管理組 織 【Org】	価値連鎖 【VC】	リスク分析 (セキュ リティ、セーフティ) 【RA】	設計根拠 (実際 に各View毎に存 在) 【AR】	ロードマップ【LM】	
AsIs	現状SoSコン テキスト (分 析可能な範 囲で) 【ACn】		●SoSと外部シス テムとの関係 ・ライフサイクル定義 ・コンテキスト分析 (概略) ・ステークホルダ分析 ・利用領域 (シー ン)	●SoSの実現するこ と ・目的に対応した ケーパビリティ (目的 を最上位としたツリー や表等)	●コンセプトイメージ ・ビジネスエコシステム 及びシステムの概要 (CVCAやシステ ム図、イラスト等)	●オペレーション構成 ・SoSを実現する ケーパビリティをオ ペレーションとして具 体化 (ツリー図等)													
	現状のSoS アーキテク チャ (分析可 能な範 囲で) 【ASS】	●スコープ ・分析対象とした範 囲、切り出した理由 ・分析対象の目的、 目標アウトカム	●外部システムと SoSの関係 ・コンテキスト分析詳 細 (コンテキスト図 等) ・オペレーションをふる まいとして細分化 (ユースケース分 析・ユースケース記 述等)	●要求一覧 ・As-Isのシステムが 持つ機能のうち、 SoSのミッションにお いて求められる一 覧 ・As-Isで考慮されて いるilities等	●設計方針 ・既存システムの設 計方針について分析 できる場合には記載	●機能構成 ・SoSの機能を分析 し階層構造で表現 (ツリー図等) ・ルールの持つ機能 も含む	●機能フロー ・SoSの機能をフロー として表記 (EFFBD、アクティ ビティ図等)	●データ/アイテム定 義 ・機能間で交換され るデータやアイテムの 詳細 (表等)	●実現手段 (構成 システム) の分析 ・機能を実現する手 段のうち、ITや人を 含むシステム (ブロッ ク図、表等)	●実現手段 (ルー ル) 分析 ・ドキュメント等で定 義されたルール (ブ ロック図、表等)	●実現手段と割当 った機能 (ブロック図、表 等)	●システム図 ・構成システムをまた いだ機能の接続の表 現	●外部システムと構 成システム間及び構 成システム間のイン ターフェースの分析	●各実現手段を担 当する組織 (開発 時・運用時) ・実現手段の組織 割当	●SoSレベルでの価 値連鎖の分析 ・現状の価値連鎖、 ビジネスエコシステム の分析 (CVCAやSVN 等)	●リスク分析結果 ・現状で想定されて いるリスクと取られて いる対策の分析			
	現状の構成 システムアー キテクチャ (分析可能 な範 囲で) 【ACS】		●外部システムと構 成システムの関係 ・コンテキスト分析 (コンテキスト図 等) ・外部からみたふるま い (ユースケース分 析・ユースケース記 述等)		●設計方針 ・既存システムの設 計方針について分析 できる場合には記載	●機能構成 ・構成システムの機 能を分析し階層構 造で表現 (ツリー図 等) ・ルールの持つ機能 も含む	●機能フロー ・構成システムの機 能をフローで記載 (EFFBD、アクティ ビティ図等)	●データ/アイテム定 義 ・機能間で交換され るデータやアイテムの 詳細 (表等)	●実現手段 (サブ システム) 分析 ・構成システムの内 訳となる実現手段 (H/W、S/W、人 等) (ブロック図、表 等)	●実現手段 (ルー ル) 分析 ・ドキュメント等で定 義されたルール (ブ ロック図、表等)	●実現手段と割当 った機能 (ブロック図、表 等)	●システム図 ・構成システムをまた いだ機能の接続の表 現	●サブシステム間の インターフェースの分 析		●構成システムのレ ベルにおける価値循 環 (必要に応じ て)	●リスク分析結果 ・現状で想定されて いるリスクと取られて いる対策の分析			
ToBe	SoSコンテ キスト・ビジ ョン 【TCn】	●変化のドライバー ・As-Isに対するス テークホルダ評価 ・政策的な意思 ・諸外国の状況 ・その他ステークホル ダからの要求・制約	●スコープ ・目的、目標 ・想定時期 ・アウトカム (可能な 限り数値化)	●SoSと外部シス テムとの関係 ・ライフサイクル定義 ・利用シーン ・コンテキスト分析概 略 ・ステークホルダ分析	●SoSの実現するこ と ・目的に対応した ケーパビリティ (目的 を最上位としたツリー や表等) ,可能な限 り数値化	●システムコンセプト ・ビジネスエコシステム 及びシステムをどのよ うに実現するかコン セプト (CVCAやシ ステム図等)	●オペレーション構成 ・SoS実現に求めら れるケーパビリティをオ ペレーションとして具 体化 (ツリー図等)	前提条件や外部からの要求がある場合は記載					●組織分析 ・To-Beで必要とな るケーパビリティのう ち、既存でケーパビ リティを持っていること が期待される組織の特 定		●ステークホルダのヒア リング結果 ・外部環境の調査 等	●SoS実現の大ま かなスケジュール ・SoSアーキテク チャの計画			
	SoSアーキ テクチャ 【TSS】	(上記と同様) 必 要に応じて詳細化	(上記と同様) 必 要に応じて詳細化	●外部システムと SoSの関係 ・コンテキスト分析詳 細 (コンテキスト図、 表等) ・オペレーションをふる まいとして細分化 (ユースケース分 析・ユースケース記 述等)	●要求一覧 ・コンテキスト、ユース ケース、前提から抽 出した機能要求 ・To-Beで考慮すべ きilities等をふまえた 非機能要求 ・その他、則るべき標 準や前提条件などか らの要求 (表等)	●設計方針 ・要求を踏まえた設 計方針 (文章等)	●機能構成 ・機能を定義し構成 を階層化 (ツリー図 等)	●機能フロー ・機能をフロー化 (EFFBD、アクティ ビティ図等)	●データ/アイテム定 義 ・機能間で交換され るデータやアイテムの 詳細 (表等)	●実現手段 (HW/SW/人) ・SoSを構成する実 現手段を定義 (ブ ロック図、表等)	●実現手段 (ルー ル) の定義 ・SoSを構成する実 現手段のうち、ルー ルや規則によって実 現されるものを定義 (ブロック図、表 等)	●アロケーション構成 ・機能・性能の実現 手段への割当 (ブロック図、表 等)	●構成システム間の 関係性 ・ロジックを実現手段 へ割り当てたフロー (スィムレーションやシ ステム図)	●外部システムと構 成システム間及び構 成システム間のイン ターフェースの定義	●各実現手段を担 当する組織 (開発 時・運用時) ・実現手段の組織 割当	●SoS内部レベルの 価値連鎖の分析 ・設計したシステムの 価値連鎖が持続可 能かの確認 (CVCAやSVN等)	●設計時に前提とし たリスク分析結果 (STAMP/STPAや FTA,FMEA等の想 定、専門家と相談の 結果等の設計根拠 上で必要なもの)	●アーキテクチャ設 計における最終案と 他案との比較結果 やシミュレーション結 果等の設計根拠	●SoSアーキテク チャ実装に向けた構 成システム設計の計 画、役割分担 ・段階導入のステップ
	構成シス テム アーキ テク チャ (必要 に 応じて) 【TCS】	●SoSレベルのアー キテクチャで定義さ れた当該構成システ ムへの要求	●スコープ ・目的、目標 ・想定時期 ・アウトカム (可能な 限り数値化)	●外部システムと SoI(構成システ ム)との関係 ・コンテキスト分析 (コンテキスト図 等) ・外部からみたふるま い (ユースケース分 析・ユースケース記 述等)	●要求一覧 ・コンテキスト、ユース ケース、ステークホル ダ要求から抽出した 機能一覧 ・To-Beで考慮すべ きilities等をふまえた 非機能要求 ・その他、則るべき標 準や前提条件などか らの要求 (表等)	●設計方針 ・要求を踏まえた設 計方針 (文章等)	●機能構成 ・機能を定義し構成 を階層化 (ツリー図 等)	●機能フロー ・機能をフロー化 (EFFBD、アクティ ビティ図等)	●データ/アイテム定 義 ・機能間で交換され るデータやアイテムの 詳細 (表等)	●実現手段 (HW/SW/人) の 構成 ・構成システムを実 現する実現手段を 定義 (ブロック図、 表等)	●実現手段 (ルー ル) の定義 ・構成システムの実 現手段のうち、ルー ルや規則によって実 現されるものを定義 (ブロック図、表 等)	●アロケーション構成 ・機能・性能の実現 手段への割当 (ブロック図、表 等)	●サブシステム間の 関係性 ・ロジックを実現手段 へ割り当てたフロー (スィムレーションやシ ステム図)	●外部システムとサ ブシステム間及びサ ブシステム間のイン ターフェースの定義	●構成システムのレ ベルにおける価値循 環 (必要に応じ て)	●設計時に前提とし たリスク分析結果 (STAMP/STPAや FTA,FMEA等の想 定、専門家と相談の 結果等の設計根拠 上で必要なもの)	●アーキテクチャ設 計における最終案と 他案との比較結果 やシミュレーション結 果等の設計根拠	●構成システムアー キテクチャ実装に向 けたサブシステム設 計の計画、役割分 担	